

1. 目 的

この調査は、本市における自然環境についての現状を把握し、今後の施策に生かしていくと共に、市民の皆さまに身近な自然環境や生物多様性について興味を持って頂き、地域における緑を含めた自然環境の保全及び生物多様性の保全につなげていくことを目的としています。

2. 募集期間

平成23年4月1日～平成23年8月31日

※ただし、この期間以外に見たという情報についても集計しました。

3. 調査場所

川越市内の野鳥を見つけた所在地。また、近くに目印があれば、併せてお知らせいただきました。さらに、そのフィールド（自宅の庭・河川・樹林・農地等）についてもお知らせいただきました。

4. 調査方法

広報紙や市ホームページ、ポスター掲示などを通じて、市内で見つけた身近な野鳥についての情報を市民の皆さまから募集いたしました。

募集内容については次のとおりです。

No.	項 目	内 容
1	鳥の種類	ツバメ、オナガ、メジロ等見つけた野鳥の種類をお知らせ下さい。 ※野鳥であれば、どんな鳥でも結構です。
2	鳥の数	何羽見つけたかわかる範囲でお知らせ下さい。
3	調査日 (見た時期)	野鳥を見つけた日。もしくは見た時期。
4	調査場所 (見た場所)	どこで見つけたか、その所在地をお知らせ下さい。また、近くに目印があればそれも出来るだけ詳しくお知らせ下さい。また、そのフィールド（自宅の庭・河川・樹林・農地 等）をお知らせ下さい。
5	感想・その他	野鳥を見つけた感想、その他なんでもお知らせ下さい。
6	住所・氏名・ 連絡先	差し支えなければ住所、氏名、連絡先をお知らせ下さい。
7	写真データ	見つけた野鳥を撮影された方は写真データをいただけると幸いです。 いただいた写真データは貴重な資料とさせていただきます。

5. 受付方法

窓口、郵送、FAX(049-225-9800)、及び電子メール

(kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp)、にて受付しました。また、

【別表1】“身近な野鳥の調査シート”（A4用紙）を御利用いただきました。

【別表 1】



身近な野鳥の調査シート

住所 _____ 氏名 _____ 連絡先 _____

鳥の種類	鳥の数	調査日 (見た時期)	調査場所(見た場所)			感想・その他
			所在地	目印	フィールド種類	
種類	羽	合計				

フィールド種類の例：自宅の庭・公園・樹林・川・池・沼・湿地・農地 等

提供いただいたデータや写真を報告書に掲載する場合の、提供者氏名について 掲載してもよい ・ 掲載を希望しない

調査終了後、報告書の送付希望 有 ・ 無 ※報告書は、完成後ホームページに掲載する予定です。

6. 情報提供者数

合計 14 名 (延べ 491 件)

7. 調査結果

i) 鳥類の確認状況

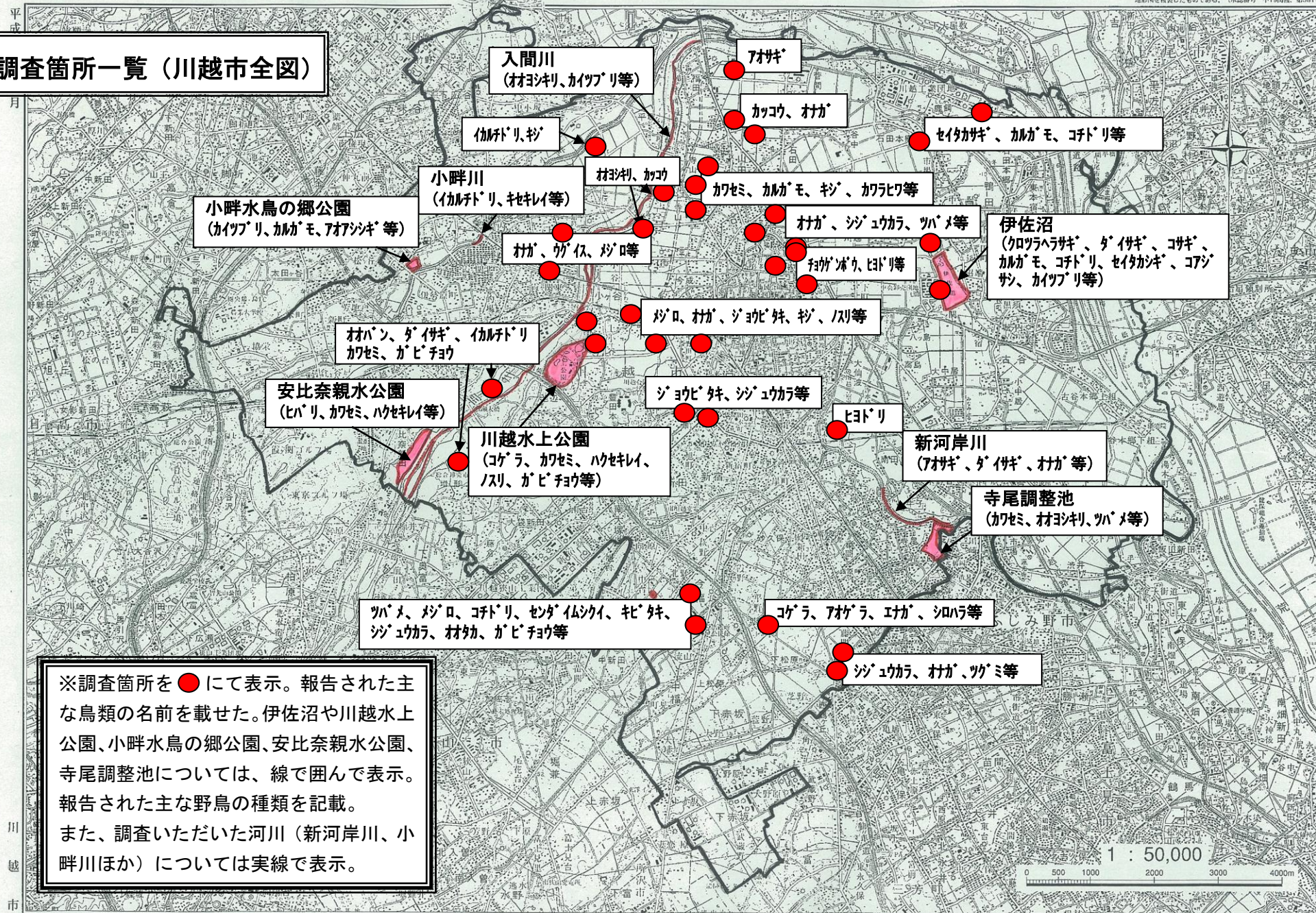
今回の調査で皆さまからお寄せいただいた市内の鳥類は、夏季 74 種冬季 41 種となりました。これまでに川越市が調査した既存資料（市内の各地点においてそれぞれ期間を通して調査した結果）によると、約 160 種の鳥類が記録されています。なお、今回の調査は、4 月 1 日から 8 月 31 日までの夏季に実施したものです。他の季節の目撃情報も皆さまより寄せられ、沢山の情報をいただくことができました。

ちなみに、現在までに埼玉県内で記録された県産鳥類は、331 種（埼玉県レッドデータブック 2008）を数え、全国で記録のある 542 種（日本鳥学会、2000）の約 61% を占めるに至っています。

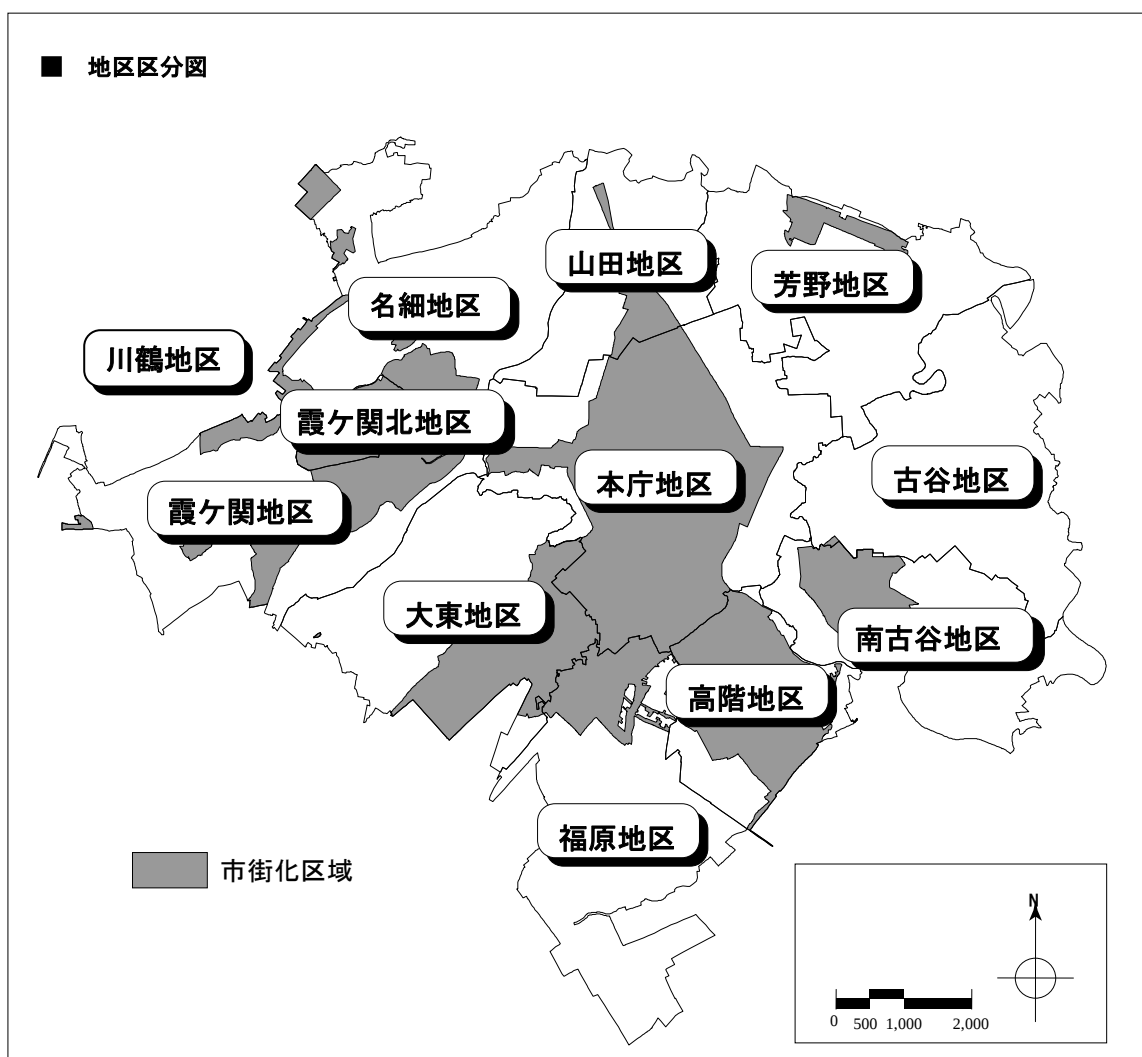
ii) データ一覧

今回皆さまから寄せられたデータは川越市全図上にまとめました。さらに詳細なデータとして、寄せられた全てのデータを地区別にまとめました。また、その際に頂いた写真データについて、一部をご紹介しますいただきます。

調査箇所一覧（川越市全図）



※調査箇所を●にて表示。報告された主
な鳥類の名前を載せた。伊佐沼や川越水上
公園、小畔水鳥の郷公園、安比奈親水公園、
寺尾調整池については、線で囲んで表示。
報告された主な野鳥の種類を記載。
また、調査いただいた河川（新河岸川、小
畔川ほか）については実線で表示。



川越市全域を上図のとおり地区別に分けて情報を集計しました。

《地区別の情報概要》

【本庁地区】住宅街、社寺の樹林、河川敷、田などから情報が寄せられました。夏季はドバトやカラス、ムクドリといったよくみられる野鳥から、ツミやチョウゲンボウといった猛禽類、ツバメやヒバリなど多様な野鳥が見られました。冬季は、サギ類、ジョウビタキの情報が寄せられました。(夏季19種類・冬季23種類)

【芳野地区】伊佐沼やその周辺からダイサギ、コサギ、カルガモ、コチドリ、セイタカシギ、コアジサシ、キジバト、ツバメ、ハクセキレイ、スズメ、カイツブリなど多種類の野鳥が観察されました。また、国際的にも希少なクロツラヘラサギが観察されました。(夏季36種類・冬季4種類)

【古谷地区】田でアオサギが見られました。(夏季1種類)

【南古谷地区】 今回の調査では情報が寄せられませんでした。

【高階地区】 新河岸川、寺尾調整池、住宅街などからツバメ、ヒバリ、カワラヒワ、アオサギ、シジュウカラなどの情報が寄せられました。(夏季13種類)

【福原地区】 (仮称)川越森林公園計画地とその周辺地域の樹林を中心に、ツバメ、キビタキ、シジュウカラ、メジロなど多種類の情報が寄せられました。貴重なオオタカの情報も寄せられ、また、特定外来生物に指定されているガビチョウ、カオグロガビチョウも見られました。(夏季43種類)

【大東地区】 川越水上公園やその付近での情報が寄せられました。シジュウカラ、オナガは年間を通じて見られ、夏季はササゴイ、ウグイスなど、冬季はジョウビタキ、シメなどが見られました。トビ、ノスリ、チョウゲンボウといった猛禽類の情報も寄せられました。また、大東地区でもガビチョウが見られました。(夏季14種類・冬季24種類)

【霞ヶ関地区】 安比奈親水公園、入間川から夏季はアオサギ、カワセミ、ハクセキレイ、オオバンなど、冬季はダイサギ、カワセミ、セグロセキレイの情報が寄せられました。また、霞ヶ関地区でもガビチョウが観察されました。(夏季9種類・冬季3種類)

【霞ヶ関北地区】 入間川付近からノスリやキジ、カイツブリ、モズといった様々な種類の野鳥の情報が寄せられました。(夏季6種類・冬季1種類)

【川鶴地区】 小畔水鳥の郷公園からカワウ、カルガモ、カイツブリ等の水鳥を中心に情報が寄せられました。(夏季8種類)

【名細地区】 入間川や小畔川といった河川や住宅街等から、夏季はキジ、ウグイス、オナガなど、冬季はマガモやカワセミ、メジロなど多種類の情報が寄せられました。(夏季5種類、冬季9種類)

【山田地区】 住宅地や農地、河川など様々な場所から、オオヨシキリやウグイス、カワセミ、ダイサギ、ノスリなど多くの情報が寄せられました。(夏季16種類・冬季8種類)